



2013年8月19日

SUBARU BRZ GT300 が SUPER GT 第5戦でクラス優勝

～ SUBARU BRZ GT300 での初優勝を果たす ～

富士重工業のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル^{*1}が SUBARU BRZ GT300（チーム名：SUBARU BRZ R&D SPORT）で参戦する 2013 AUTOBACS SUPER GT 第5戦「第42回 インターナショナル ポッカサッポロ 1000km」（会場：鈴鹿サーキット）の決勝レースが8月18日（日）に行われ、参戦2シーズン目にして GT300 クラスで初優勝を果たしました。

前日の予選では、今シーズン5戦中4度目となるポールポジションを獲得。決勝では、最初からトップを快走するもレース終盤で一時トップを譲りましたが、再び逆転し初優勝を飾りました。

SUPER GT は全日本 GT 選手権を引き継ぎ 2005 年に発足したカテゴリーであり、現在日本国内で最も人気のあるモータースポーツカテゴリーです。

STI は R&D SPORT と共に 2009 年より LEGACY B4 GT300 で参戦を開始し、昨シーズンから市販車の SUBARU BRZ が採用する超低重心な FR レイアウトを継承した、SUBARU BRZ GT300 で参戦しています。低重心でコンパクトな水平対向エンジンがもたらす走行性能の高さとそのシルエットは、昨シーズンの初参戦から多くのレースファンに支持されています。

レースの詳細につきましては、下記スバルオフィシャルウェブサイトをご覧ください。

<http://www.subaru-msm.com/race/sgt/rd5.html>

*1：スバルテクニカインターナショナル（株）（代表：唐松洋之、東京都三鷹市、略称：STI）

